

第2章 観光入込客数の推計（観光統計調査編）

1 各地区の年間観光入込客数の推計

（1）平常時における各地区の年間観光入込客数

①上野地区

a. 上野公園

b. アメ横

②浅草地区

③谷中地区

④浅草橋地区

（2）イベント来訪者数

（3）宿泊観光客数

①日本人宿泊観光客数

a. 年間宿泊観光客数（延べ数）

b. 年間宿泊観光客数（実人数）

②外国人宿泊観光客数

a. 年間宿泊観光客数（延べ数）

b. 年間宿泊観光客数（実人数）

（4）外国人観光客数

①上野地区

a. 上野公園

b. アメ横

②浅草地区

③谷中地区

④浅草橋地区

（参考）外国人来訪者の居住国（圏域別構成比）

2 台東区の年間観光客数

（1）平常時の観光入込客数の整理

（2）イベント来訪者数の整理

（3）宿泊観光客数の整理（日本人のみ）

（4）台東区の年間観光客数

第2章 観光入込客数の推計（観光統計調査編）

1 各地区の年間観光入込客数の推計

(1) 平常時における各地区の年間観光入込客数

①上野地区

a. 上野公園

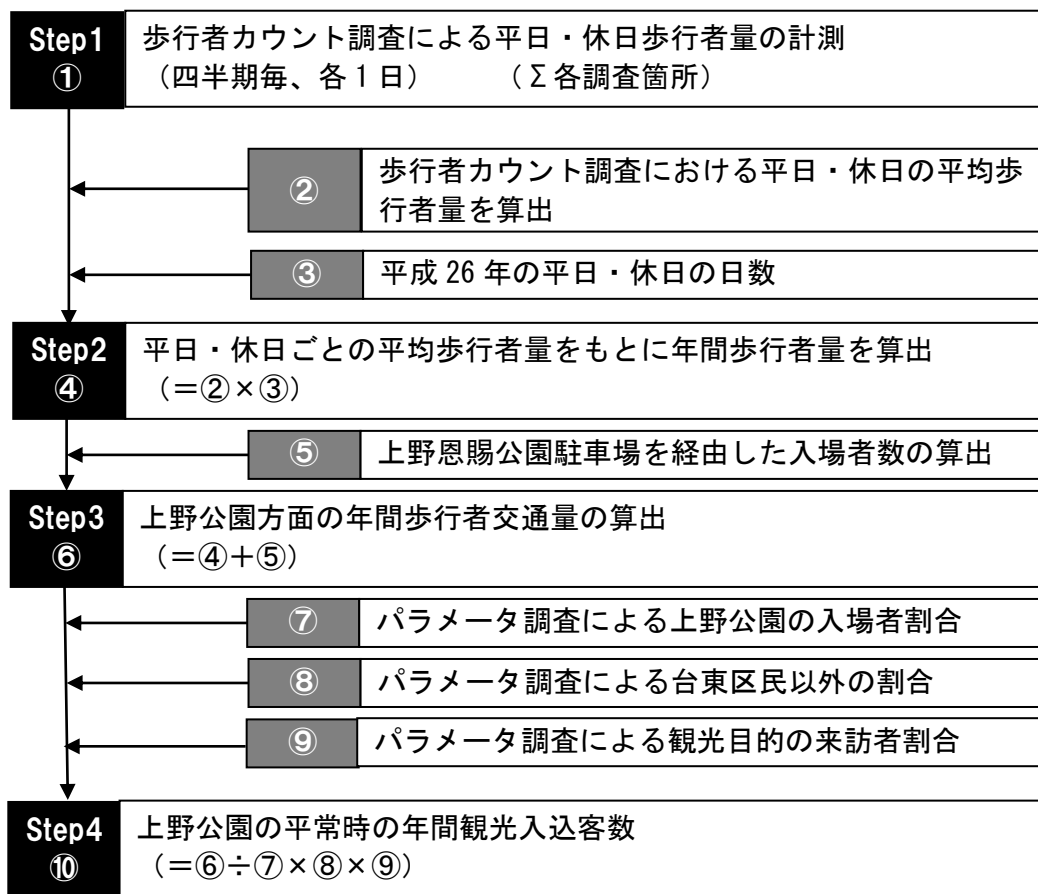


図 2-1 上野公園の推計手順

上野公園で実施した歩行者カウント調査の結果について示す。(表 2-1)

今回の調査では、上野公園方面（JR公園口、袴越し）において、平日と休日を区別し推計を行った。

その結果、上野公園方面の年間歩行者交通量については、9,044,875（人）と算出された。

表 2-1 歩行者カウント調査結果

月日/曜日	上野公園 (JR公園口)	上野公園 (袴越し)	上野公園方面合計
2月 13日 木	17,998	4,365	22,363
2月 22日 土	33,859	8,506	42,365
7月 12日 土	15,289	4,481	19,770
7月 15日 火	8,353	2,291	10,644
9月 10日 水	13,696	2,590	16,286
9月 14日 日	38,834	7,590	46,424
12月 16日 火	8,548	1,062	9,610
12月 21日 日	29,003	7,240	36,243
平日平均	15,847	3,478	19,325
休日平均	29,246	6,954	36,201
平日日数	247		
休日日数	118		
平日通行量推計	3,914,209	859,066	4,773,275
休日通行量推計	3,451,028	820,572	4,271,600
計	7,365,237	1,679,638	9,044,875

※7月15日(火)と12月16日(火)のデータは、天候の変化(大雨)により、平常時のデータが得られなかったため、特異日として算出の基礎から除外した。

さらに、東京国立博物館側から入る来訪者をカウントするため、上野恩賜公園駐車場の利用者を表2-2に示すとおり、1,174,559(人)と推計し、上野公園方面の年間歩行者交通量9,044,875(人)に加えると上野公園の来訪者は10,219,434(人)と推計された。

表 2-2 上野恩賜公園駐車場を利用した来訪者の推計

区分	台数 ①	平均乗車人数 ②	推計人数 ③=①×②	
普通車	50,501	3	151,503	平均乗車人数は、「全国観光統計基準」(日本観光協会)を参考に設定
大型車・バス	25,245	40	1,009,800	
バイク	13,256	1	13,256	
計	89,002		1,174,559	

アンケート調査による上野公園における来訪者の上野公園入場者割合、台東区民以外の割合及び観光目的の割合は次の表のとおりである。(表2-3)

表 2-3 上野公園のパラメータ

	アンケート回答数	該当回答数	割合
上野公園の入場者割合	705	489	69.4%
台東区民以外の割合	705	659	93.5%
観光目的で来訪した割合	620	564	91.0%

また、上野公園周辺の来訪者も加味するため、上野公園入場者割合 69.4%で割り、さらに台東区民以外の割合 93.5%と観光目的で来訪した割合 91.0%を掛けることで、上野公園の平常時の年間観光客数は、12,529,114（人） \div 1,253（万人）と推計された。（表 2-4）

表 2-4 上野公園の平常時の年間観光入込客数

① 上野公園方面の歩行者交通量	9,044,875
② 上野恩賜公園駐車場を利用した来訪者数	1,174,559
③ =①+②	10,219,434
④ 上野公園の入場者割合	69.4%
⑤ 上野公園の台東区民以外の割合	93.5%
⑥ 上野公園の観光目的で来訪した割合	91.0%
⑦ 上野公園の平常時の年間観光入込客数=③/④*⑤*⑥	12,529,114
	1,253 万人

上野公園の平常時の年間観光入込客数は、前回の 1,607（万人）に対し、354（万人）の減少となった。要因として、上野公園内の文化・観光施設来場者の減少が歩行者交通量に影響したと考えられる。

b. アメ横

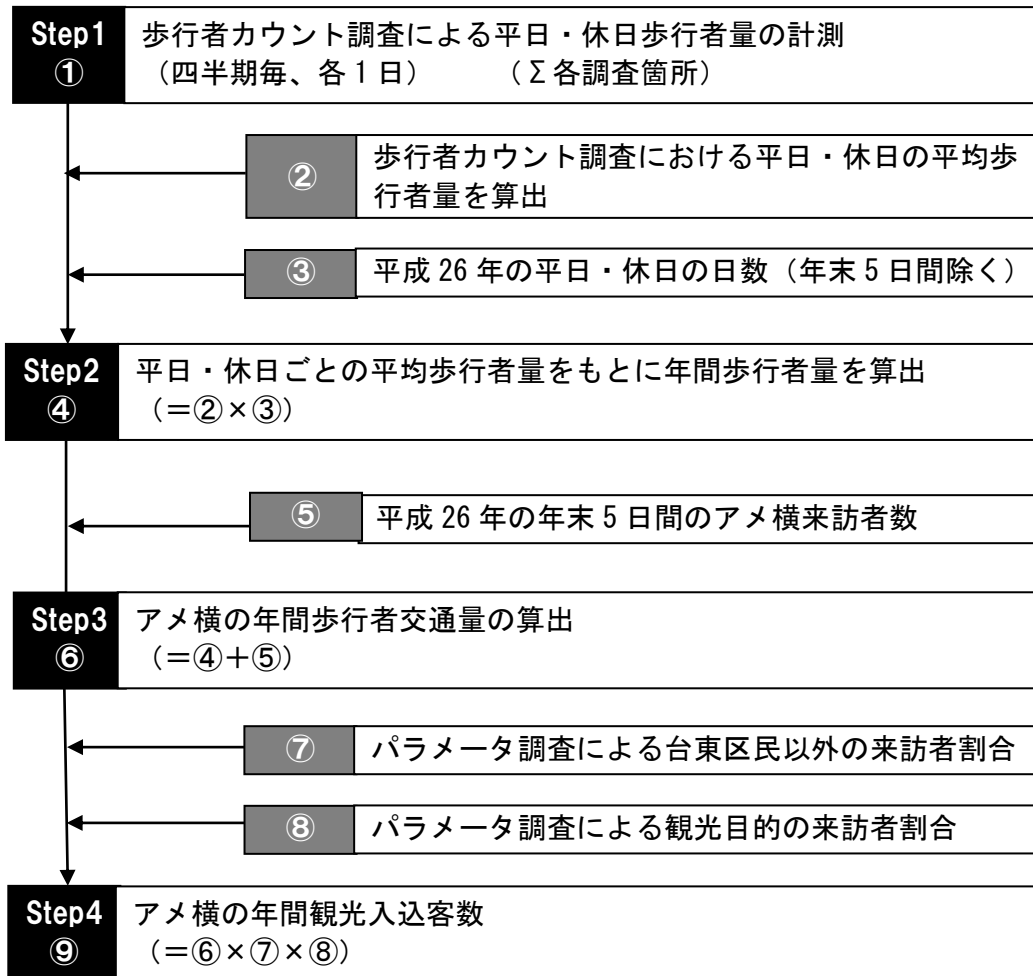


図 2-2 アメ横の推計手順

アメ横(上野側)とアメ横(御徒町側)の2地点における歩行者カウント調査について、平日と休日を区別し推計を行い、年末(12/27~12/31)の5日間については、特に大勢の買物客が来訪することから、別にカウントした数値を用いて観光入込客数を推計した。

その結果、年末の5日間を除いた推計値が、11,486,600(人)であり、これに年末5日間の1,975,000(人)を加えた年間歩行者交通量は13,461,600(人)と推計された。

表 2-5 歩行者カウント調査結果

月日/曜日	歩行者交通量	
	アメ横(上野側)	アメ横(御徒町側)
2月 13日 木	12,882	12,480
2月 22日 土	27,584	21,754
7月 12日 土	21,185	17,546
7月 15日 火	12,318	12,191
9月 10日 水	11,640	9,428
9月 14日 日	32,999	19,402
12月 16日 火	10,904	9,929
12月 21日 日	35,194	27,386
平日平均	11,936	11,007
休日平均	29,241	21,522
平日日数	244	
休日日数	116	

平日通行量推計	2,912,384	2,685,708
休日通行量推計	3,391,956	2,496,552
計	6,304,340	5,182,260
		11,486,600
年末(12/27~12/31)の来訪者数		1,975,000
		13,461,600

また、アンケート結果による台東区民以外の割合は 94.1%、観光目的で来訪した割合は 72.9%であった。(表 2-6)

表 2-6 アメ横のパラメータ

	アンケート回答数	該当回答数	割合
台東区民以外の割合	85	80	94.1%
観光目的で来訪した割合	85	62	72.9%

アメ横の年間歩行者交通量 13,461,600 (人) に台東区民以外の割合 94.1%と観光目的の割合 72.9%を掛けると、アメ横の年間観光入込客数は、9,234,510 (人) \approx 923 (万人) と推計された。(表 2-7)

表 2-7 アメ横の観光入込客数の推計結果

① アメ横地区の年間歩行者交通量	13,461,600
② アメ横地区の台東区民以外の割合	94.1%
③ アメ横地区の観光目的で来訪した割合	72.9%
④ アメ横地区の年間観光入込客数=①*②*③	9,234,510
	923 万人

前回のアメ横の年間観光入込客数 714 万人に対し 209 万人の増加となった。特に買い物目的で来訪する外国人観光客の増加が目立った。

②浅草地区

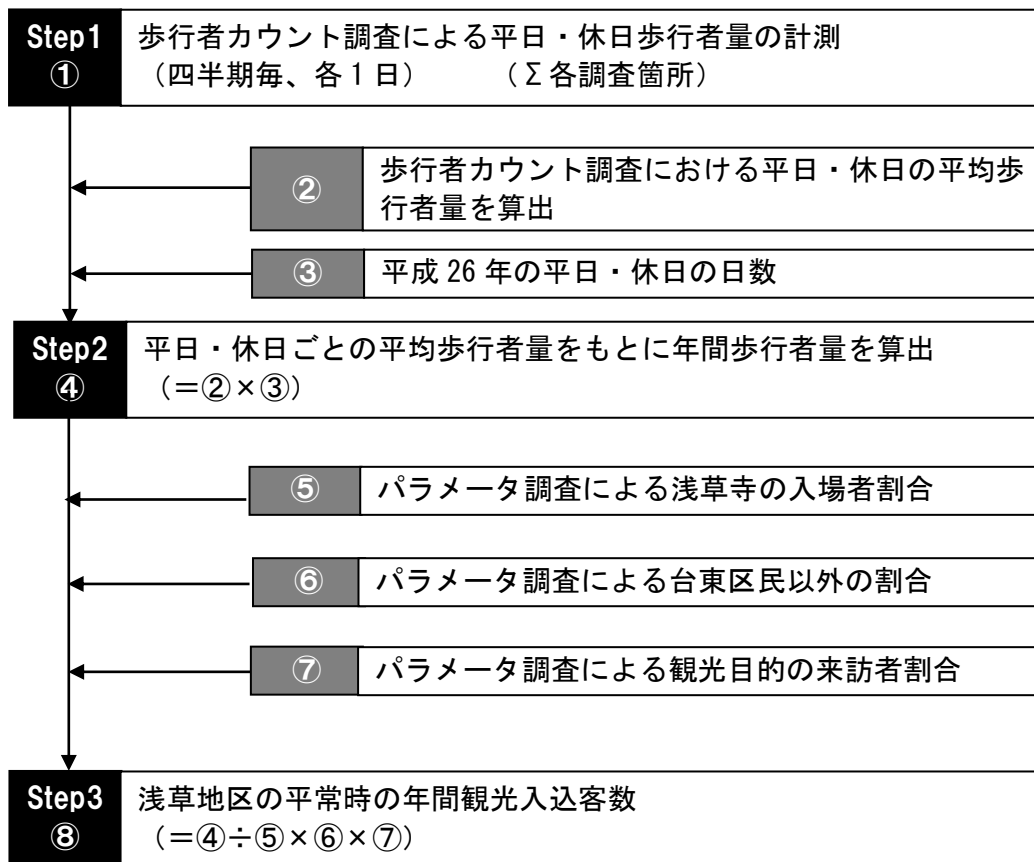


図 2-3 浅草地区の推計手順

浅草地区の5地点で歩行者カウント調査を行い、平日と休日を区別し算出した。なお、吾妻橋西詰の歩行者については、浅草寺方面の他のカウント地点との重複をさけるため、パラメータを50.0%に設定して推計した。

その結果、浅草寺方面の年間歩行者交通量は、14,081,546(人)と推計された。(表 2-8)

表 2-8 歩行者カウント調査結果

月日/曜日	浅草寺方面歩行者交通量					浅草寺 方面合計
	雷門前	新仲見世東側	TX 浅草駅	二天門前	吾妻橋西詰	
2月 13日 木	14,938	6,002	3,264	3,416	4,619	32,239
2月 22日 土	37,931	10,858	8,269	6,863	6,424	70,345
7月 12日 土	21,718	8,460	4,324	8,194	4,869	47,565
7月 15日 火	14,422	5,968	2,247	5,371	3,472	31,480
9月 10日 水	15,504	5,068	2,537	5,201	3,807	32,117
9月 14日 日	36,290	11,883	8,091	6,260	10,036	72,560
12月 16日 火	10,300	5,121	2,616	5,138	2,913	26,106
12月 21日 日	26,682	10,740	9,790	7,181	6,808	61,201
平日平均	13,791	5,540	2,666	4,782	3,707	
休日平均	30,655	10,485	7,619	7,125	7,034	
平日日数						247
休日日数						118
						補正率 50.0%
						↓
平日通行量推計	3,406,377	1,368,380	658,502	1,181,154	457,815	
休日通行量推計	3,617,290	1,237,230	899,042	840,750	415,006	
計	7,023,667	2,605,610	1,557,544	2,021,904	872,821	14,081,546

アンケート調査による浅草地区における来訪者の浅草寺の入場者割合、台東区民以外の割合及び観光目的で来訪した割合は次の表のとおりである。(表 2-9)

表 2-9 浅草地区のパラメータ

	アンケート回答数	該当回答数	割合
浅草寺の入場者割合	842	538	63.9%
台東区民以外の割合	842	788	93.6%
観光目的で来訪した割合	842	772	91.7%

浅草寺周辺の来訪者も加味するため、浅草寺入場者割合 63.9%で割り、さらに台東区民以外の割合 93.6%と観光目的で来訪した割合 91.7%を掛けると、浅草地区の平常時の年間観光客数は、18,914,491（人） \div 1,891（万人）と推計された。（表 2-10）

表 2-10 浅草地区の平常時の年間観光入込客数の推計結果

① 浅草寺方面の年間歩行者交通量	14,081,546
② 浅草寺の入場者割合	63.9%
③ 浅草地区の台東区民以外の割合	93.6%
④ 浅草地区の観光目的で来訪した割合	91.7%
⑤ 浅草地区の平常時の年間観光入込客数=①/②*③*④	18,914,491
	1,891 万人

平常時の年間観光入込客数は、前回の 1,779（万人）に対し、112（万人）の増加となった。隣接区の東京スカイツリーが平成 24 年 5 月に開業したが、今回は 1 年を通して多くの観光客が浅草地区へ来訪したと考えられる。また、外国人観光客が増加したことも要因と考えられる。

③谷中地区

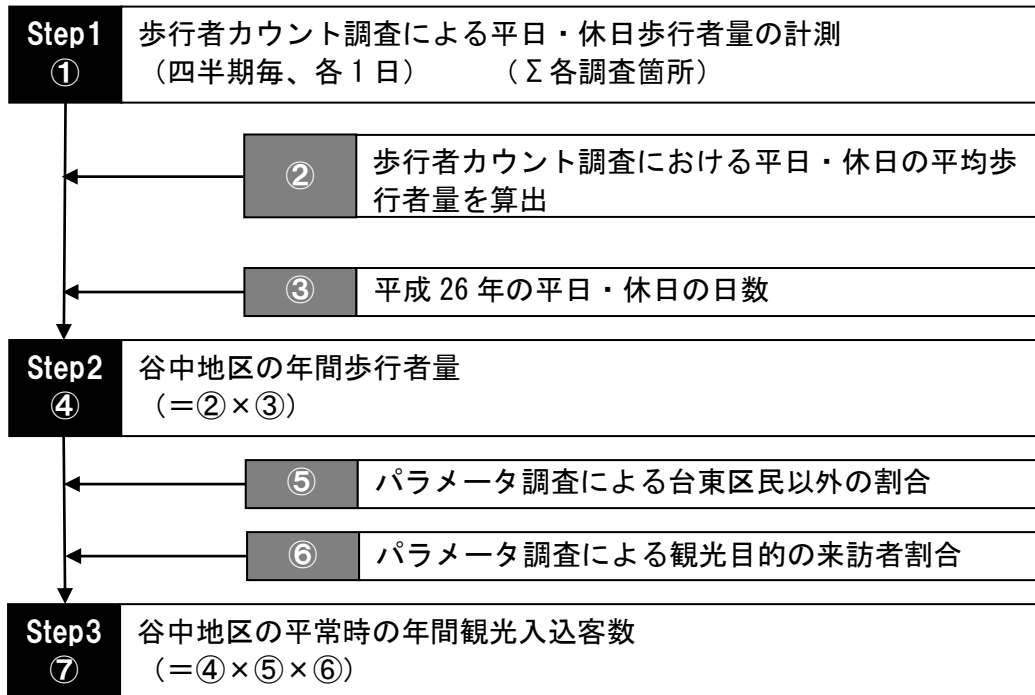


図 2-4 谷中地区の推計手順

今回の調査では、過去に調査を実施した「根津駅」、「千駄木駅」、「西日暮里駅」を加味した推計を行うため、これらの地点の補足推計を行うこととした。

前回調査を行った「谷中銀座」について、前回歩行者交通量と今回歩行者交通量を比較整理すると図 2-5 のとおりとなり、一定の関係性がみられることから、回帰式による比例関係が得られるものと仮定した。

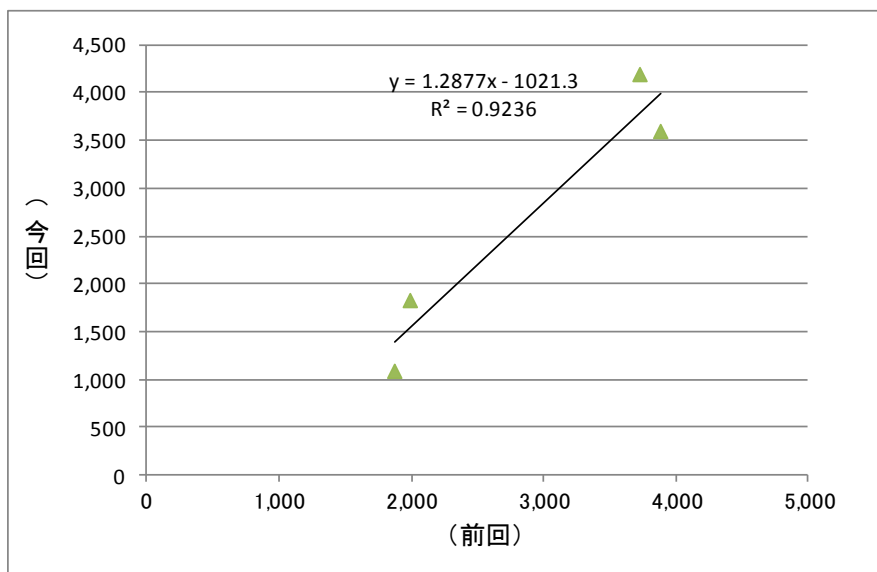


図 2-5 谷中銀座での前回と今回の相関

得られた回帰式より、前回調査結果から根津駅、千駄木駅、及び西日暮里駅地点の歩行者量を推計すると次の表のとおりとなる。(表 2-11)

表 2-11 根津駅、千駄木駅、西日暮里駅の推計

	谷中銀座		根津駅		千駄木駅		西日暮里駅	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
6～7月(平日)	1992	1822	1155	466	1478	882	1114	413
6～7月(休日)	3891	3595	1603	1043	1340	704	1421	809
12月(平日)	1871	1094	1108	405	1560	988	1023	296
12月(休日)	3731	4193	1565	994	2067	1640	1432	823

これらの結果を踏まえて、平日及び休日ごとの平均を求め、平日分及び休日分の日数を乗じると、谷中地区の年間歩行者交通量は、計 2,220,835 (人) となった。(表 2-12)

表 2-12 歩行者カウント調査結果

月日/曜日	谷中地区歩行者交通量				
	谷中銀座	上野桜木交差点	根津駅	千駄木駅	西日暮里駅
2月 13日 木	1,715				
2月 22日 土	4,091				
7月 12日 土	3,595	1,882	1,043	704	809
7月 15日 火	1,822	1,298	466	882	413
9月 10日 水	1,866	750			
9月 14日 日	6,171	2,012			
12月 16日 火	1,094	1,117	405	988	296
12月 21日 日	4,193	2,345	994	1,640	823
平日平均	1,624	1,055	436	935	355
休日平均	4,513	2,080	1,019	1,172	816
平日日数	247				
休日日数	118				
平日通行量推計	401,128	260,585	107,692	230,945	87,685
休日通行量推計	532,534	245,440	120,242	138,296	96,288
計	933,662	506,025	227,934	369,241	183,973

2,220,835

アンケート調査結果による台東区民以外の割合は98.2%で、観光目的で来訪した割合は84.5%であった。(表2-13)

表2-13 谷中地区のパラメータ

	アンケート回答数	該当回答数	割合
台東区民以外の割合	440	432	98.2%
観光目的で来訪した割合	440	372	84.5%

年間歩行者交通量2,220,835(人)に台東区民以外の来訪者割合98.2%と観光目的で来訪した割合84.5%を掛けると、谷中地区の平常時の年間観光入込客数は、1,842,827(人) \div 184(万人)と推計された。(表2-14)

表2-14 谷中地区の観光入込客数の推計結果

① 谷中地区の年間歩行者交通量	2,220,835
② 谷中地区の台東区民以外の割合	98.2%
③ 谷中地区の観光目的で来訪した割合	84.5%
④ 谷中地区の年間観光入込客数=①*②*③	1,842,827
	184万人

平常時の年間観光入込客数は、前回の142(万人)に対し、42(万人)の増加となった。要因として、谷中地区にまち歩きや散策する来訪者が増えたことによるものと考えられる。

④浅草橋地区

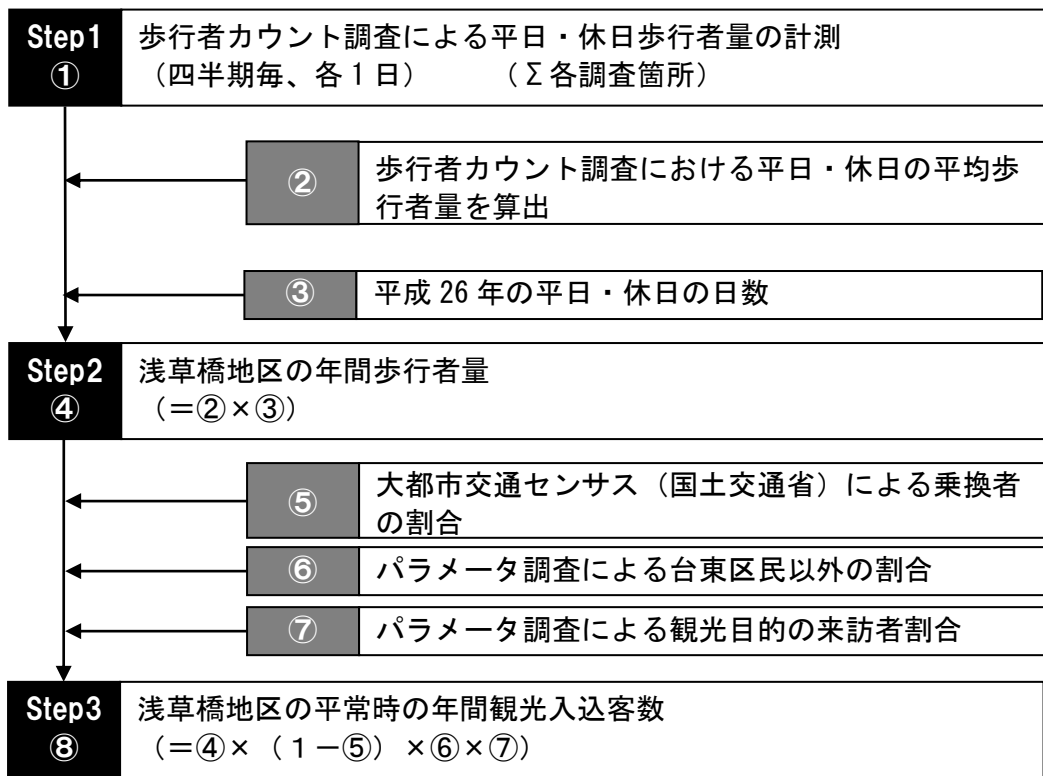


図 2-6 浅草橋地区の推計手順

前回の調査では、平日の9:00~10:00について、業者による搬入等の影響がみられたが、今回の調査では、他の時間帯と比較して特に増減はみられなかったため、この時間帯についての除外は行わなかった。結果、浅草橋地区の年間歩行者交通量は3,264,513(人)と推計された。(表2-15)

表 2-15 歩行者カウント調査結果

月日/曜日	浅草橋地区歩行者交通量	
	JR浅草橋駅東口	
2月 13日 木	10,470	
2月 22日 土	8,447	
7月 12日 土	6,881	
7月 15日 火	9,353	
9月 10日 水	10,363	
9月 14日 日	6,707	
12月 16日 火	9,305	
12月 21日 日	5,961	
平日平均	9,873	
休日平均	6,999	

平日日数	247
休日日数	118

平日通行量推計	2,438,631
休日通行量推計	825,882
計	3,264,513

浅草橋駅はJRと都営浅草線の乗換客が多いことから、乗換客を差し引くこととする。

なお、平成23年度の大都市交通センサス（国土交通省が5年ごとに調査を実施）による浅草橋駅の乗換率は、次表のとおり27.2%である。（表2-16）

表2-16 浅草橋駅の乗換率

	終日
初乗り計 ①	3,824
最終降車計 ②	28,011
乗換え計 ③	11,906
合計 ④(①+②+③)	43,741
乗換率③/④	27.2%

アンケート調査結果より台東区民以外の来訪者割合は94.0%、観光目的で来訪した割合は52.1%であった。

表2-17 浅草橋地区のパラメータ

	アンケート回答数	該当回答数	割合
台東区民以外の割合	217	204	94.0%
観光目的で来訪した割合	217	113	52.1%

年間歩行者交通量3,264,513（人）に浅草橋駅の乗換率27.2%を掛けたものを引き、さらに、台東区民以外の割合94.0%と観光目的で来訪した割合52.1%を掛けると、浅草橋地区の平常時の年間観光入込客数は、1,163,899（人） \approx 116（万人）と推計された。（表2-18）

表2-18 浅草橋地区の観光入込客数の推計結果

① 浅草橋地区の年間歩行者交通量	3,264,513
② 浅草橋駅の乗換率	27.2%
③ 浅草橋地区の台東区民以外の割合	94.0%
④ 浅草橋地区の観光目的で来訪した割合	52.1%
④ 浅草橋地区の年間観光入込客数=①×(1-②)×③×④	1,163,899
	116万人

今回は歩行者交通量や観光目的で来訪者が増加した。

(2) イベント来訪者数

平成 26 年 1 月～12 月に開催された地区毎のイベント来訪者数は、主催者発表に基づき以下のとおりである。(表 2-19)。なお、複数の地区にまたがるイベントは、その他として扱った。

表 2-19 平成 26 年のイベント来訪者数

イベント	イベント来訪者数
浅草寺 初詣(3ケ日)	2,830,000
江戸流しびな	2,300
隅田公園桜まつり	118,000
隅田川きもの園遊会	1,700
桜橋花まつり	148,000
浅草観音うら一葉桜まつり	50,000
浅草流鏑馬	25,000
こんこん靴市	20,000
三社祭	1,840,000
泣き相撲	13,000
お富士さんの植木市・花のフェスティバル	40,000
下町七夕まつり	410,000
浅草寺ほおずき市	550,000
隅田川花火大会	965,000
浅草夏の夜まつりとうろう流し	11,000
浅草サンバカーニバル	495,000
かっぱ橋道具街まつり	400,000
酉の市	930,000
靴のめぐみ祭り市	25,000
歳の市(羽子板市)	300,000
花川戸はきだおれ市	36,000
浅草地区 計	9,210,000
浅草橋紅白マロニエまつり	43,000
鳥越祭	300,000
浅草橋地区計	343,000
うえの桜まつり	2,000,000
うえの夏まつり	500,000
上野地区 計	2,500,000
入谷朝顔まつり	300,000
谷中圓朝まつり	16,000
谷中まつり	72,000
谷中地区 計	388,000
東京マラソン	108,000
したまち演劇祭 in 台東	117,654
したまちコメディ映画祭 in 台東	157,875
モノマチ	150,000
その他 計	533,529

※『東京マラソン』は区の独自推計

年間を通して区内のイベントに多くの来訪者があった。『東京時代まつり』などの中止もあり、区全体で前回(平成 24 年)より 132(万人)の減少となった。

(3) 宿泊観光客数

区内宿泊施設を利用した宿泊客に対してアンケート調査を実施し、得られた回答結果を踏まえて宿泊観光客数の推計を行った。宿泊施設への宿泊客数調査結果は表 2-30、表 2-31 を参照されたい。

①日本人宿泊観光客数

宿泊施設利用者動向調査により、上野地区の宿泊施設から 33.9%、浅草地区の宿泊施設から 33.3%の回答があった。

回答のあった宿泊施設の日本人年間延べ宿泊数をこの回答率で割り返すことで、地区ごとの年間延べ宿泊者数を推計したところ表 2-20 のとおりとなった。

表 2-20 日本人年間延べ宿泊者数の推計

	日本人年間延べ宿泊数		アンケート調査回収率		推計
上野地区	509,933 [人泊]	÷	33.9%	=	1,504,227 [人泊]
浅草地区	761,771 [人泊]	÷	33.3%	=	2,287,601 [人泊]

a. 年間宿泊観光客数（延べ数）

次に、宿泊施設利用者のうち、「観光目的による宿泊の割合」は 79.5%であった。（表 2-21）年間延べ宿泊者数に観光目的の割合を乗じることで、年間の宿泊観光客数（延べ数）を算出した。（表 2-22）

表 2-21 滞在目的の割合（日本人）

内 容		回答数	回答率
1	芸術鑑賞	10	11.4%
2	飲食	12	13.6%
3	買い物	12	13.6%
4	動物園	3	3.4%
5	イベント参加・見物	2	2.3%
6	親戚訪問・友人訪問	0	0.0%
7	仕事・出張	9	10.2%
8	勉強・習い事	1	1.1%
9	街歩き・散策	14	15.9%
10	寺社・名所・旧跡の観光	10	11.4%
11	東京スカイツリー見物	6	6.8%
12	大衆演劇・落語の鑑賞	1	1.1%
13	その他	8	9.1%
合 計		88	—

※「親戚訪問・友人訪問」「仕事・出張」「勉強・習い事」「その他」を除く割合： 79.5%

表 2-22 日本人年間宿泊観光客数（延べ数）の推計

	年間延べ宿泊者数	観光目的の割合	年間宿泊観光客数(延べ数)	
上野地区	1,504,227	79.5%	1,195,860	120 万人
浅草地区	2,287,601	79.5%	1,818,643	182 万人

b. 年間宿泊観光客数（実人数）

宿泊観光客数の実人数を推計するため、平均宿泊日数を算定し、宿泊観光客数（延べ数）を平均宿泊日数で割り返すことで、宿泊観光客数（実人数）を推計する。そのため、「宿泊旅行統計調査（観光庁）」による統計データを基に、平成 26 年 1 月～9 月期の実態から平均宿泊日数を算定した。（表 2-23）

表 2-23 平均宿泊日数の算定（日本人）

①台東区の延べ宿泊者数	(1 月～9 月計)	1,476,570
②台東区の実宿泊者数	(1 月～9 月計)	1,095,348
③台東区の外国人延べ宿泊者数	(1 月～9 月計)	295,071
④台東区の外国人実宿泊者数	(1 月～9 月計)	186,615
⑤日本人平均宿泊日数 ((①-③) ÷ (②-④))		1.30
⑥外国人平均宿泊日数 (③÷④)		1.58

先に求めた年間宿泊観光客数（延べ数）を平均宿泊日数で割ったところ、年間宿泊観光客数（実人数）は以下のようになった。（表 2-24）

表 2-24 日本人年間宿泊観光客数（実人数）の推計

	年間宿泊観光客数 (延べ数)	平均宿泊日数	年間宿泊観光客数(実人数)	
上野地区	1,195,860	1.30	919,892	92 万人
浅草地区	1,818,643	1.30	1,398,956	140 万人

③ 外国人宿泊観光客数

続いて外国人宿泊観光客数について、日本人宿泊観光客数と同様の手順で推計を行った。はじめに、宿泊施設利用者動向調査の結果に基づき、回答のあった宿泊施設の外国人年間延べ宿泊数をアンケート調査の回答率で割り返すことで、地区ごとの年間延べ宿泊者数を推計したところ以下のようになった。（表 2-25）

表 2-25 外国人年間延べ宿泊者数の推計

	外国人年間延べ宿泊数		アンケート調査回収率		推計
上野地区	190,375 [人泊]	÷	33.9%	=	561,578 [人泊]
浅草地区	226,239 [人泊]	÷	33.3%	=	679,396 [人泊]

a. 年間宿泊観光客数（延べ数）

次に、宿泊施設利用者のうち、「観光目的による宿泊の割合」は 82.0%であった。（表 2-26）
年間延べ宿泊者数に観光目的の割合を乗じることで、年間の宿泊観光客数（延べ数）を算出した。
（表 2-27）

表 2-26 宿泊施設利用者動向調査による滞在目的の割合（外国人）

内 容		回答数	回答率
1	観光	50	56.2%
2	商用・展示会	5	5.6%
3	会議・研修会	2	2.2%
4	買い物	20	22.5%
5	親類・友人訪問	5	5.6%
6	就学関係	0	0.0%
7	スポーツ・イベント参加	3	3.4%
8	その他	4	4.5%
合 計		89	—

⇒「観光」「買い物」「スポーツ・イベント参加」割合： 82.0%

表 2-27 外国人年間宿泊観光客数（延べ数）の推計

	年間延べ宿泊者数	観光目的の割合	年間宿泊観光客数(延べ数)	
上野地区	561,578	82.0%	460,494	46 万人
浅草地区	679,396	82.0%	557,105	56 万人

b. 年間宿泊観光客数（実人数）

一方、宿泊観光客数の実人数を推計するため、平均宿泊日数を算定し、宿泊観光客数（延べ数）を平均宿泊日数で割り返すことで、宿泊観光客数（実人数）を推計する。そのため、「宿泊旅行統計調査（観光庁）」による統計データを基に、平成 26 年 1 月～9 月期の実態から平均宿泊日数を算定した。（表 2-28）

表 2-28 外国人の平均宿泊数

①台東区の外国人延べ宿泊者数	(1月～9月計)	295,071
②台東区の外国人実宿泊者数	(1月～9月計)	186,615
③外国人平均宿泊数 (①÷②)		1.58

先に求めた年間観光宿泊者数（延べ数）を平均宿泊日数で割ったところ、年間宿泊観光客数（実人数）は以下ようになった。（表 2-29）

表 2-29 外国人年間宿泊観光客数（実人数）の推計

	年間宿泊観光客数 (延べ数)	平均宿泊日数	年間宿泊観光客数(実人数)	
上野地区	460,494	1.58	291,452	29
浅草地区	557,105	1.58	352,598	35

表 2-30 平成 26 年（1 月～12 月）宿泊客数（上野地区）

		収容人数 推定		宿泊者数 日本人		宿泊者数 外国人		宿泊者数 合計	回答率	外国人 宿泊割合
上野地区	上野ホテル旅館組合	御趣マナーションホテル(旅館業)	2,022	363,791	121,955	700,308	33.9%	27.2%		
		御趣マナーションホテル(簡易宿舎営業)								
		上野ファーストシティホテル								
		R&B上野広小路								
		ホテルSWEETS								
		ホテルパークサイド								
		ホテルココ・グラン上野不忍								
		ホテルレインボー								
		きぬやホテル								
		ホテル親月荘								
		吉池ホテル								
		ビジネスホテル福寿								
		スパリゾートプレジデント								
		ホテル丸谷								
		ホテルエレガント								
		ホテルきぬや本館								
		ホテルニューウエノ								
		ホテル小松								
		ホテル福屋								
		ホテル松本								
		ビジネスイン23上野								
		カプセルきぬやホテル								
		ホテルサンターガス								
		ビジネスホテルやなぎや								
		ホテル山百合								
		ニューパークホテル								
		福吉								
		ホテル日光館								
	上野ターミナルホテル									
	ニュー伊豆ホテル									
	ホテルニュー東北									
	東金屋ホテル									
	ツーリストホテル									
	三井ガーデンホテル上野									
	ホテルちやくれん									
チサンホテル上野										
ホテルユナイテッド										
ホテルエレガンス										
水月ホテル鷗外荘										
上野公園旅館組合	64	1,432	13,249							
旅館勝太郎										
山中旅館										
澤の屋旅館										
アネックス勝太郎旅館	607	144,710	55,171							
ヴィラフォンテヌ上野										
センチュリオンホテル上野										
ホテルニューグリーン御徒町										
スーパーホテル上野・御徒町										
ホテルサードニクス上野										

	NonsmokersHotel								
	株式会社小松屋旅館								
	サットンブレイスホテル上野								
	スーパーホテルJR上野入谷口								
	ホテルマイステイズ上野入谷口								
	オークホテル								
	サウナホテルニュー大泉								
	カンデオホテルズ上野公園								
	ホテルセレッソ								
	ベッセルイン上野入谷駅前								
	ホテルブーゲンピリア三ノ輪								

表 2-31 平成 26 年（1 月～12 月）宿泊客数（浅草地区）

		収容人数 推定		宿泊者数 日本人		宿泊者数 外国人		宿泊者数 合計	回答率	外国人 宿泊割 合	
浅草地区	浅草ホテル旅館組合	ベルmontホテル									
		ホテル柳橋									
		浅草橋旅荘庵									
		浅草橋ビジネスホテル									
		京急EXイン浅草橋駅前									
		ホテルマーキュリー									
		ホテル蔵前									
		筑波ホテル									
		アゴーラ・ブレイス浅草									
		カプセルホテル浅草									
		東横イン浅草蔵前雷門									
		チサンイン浅草									
		浅草ホテル旅籠									
		ホテルボストンクラブ									
		ホテル白ばらパート1									
		ホテルエドヤド									
		ホテルウィルシティ浅草									
		東海荘分館	3,837	2,839	761,771	551,180	226,239	213,676	988,010	33.3	22.9%
		ホテル栃木屋									
		ホテルラパッション									
		浅草ビューホテル									
		ホテルサンルート浅草									
		カオサン東京浅草									
		ホテルモニカ									
		ホテルカワセ									
		ホテルニュー魚眠荘									
		浅草セントラルホテル本館									
		ホテルユニゾ浅草									
		ホテル雷門									
		旅館加茂川									
旅館三河屋											
旅館浅草指月											
リッチモンドホテル浅草											
ホテル京阪浅草											
ホテル衣											
ホテル貞千代											

	ホテルニュー栃木屋					
	サクラホテル浅草					
	ホテルラカシエット					
	ホテルステイング					
	ホテル・マーメイド・クラブ					
	和草					
	HOTELIereve					
	ホテルバンドン					
	スマイルホテル浅草					
	ドリーミンEXPRESS浅草					
	ホテルミュー					
	東横イン浅草千束つばエクスプレス					
	ホテルニューアオキ					
	行燈旅館					
城北旅館組合	ビジネスホテル楽陽	475	112,702	1,161		
	ビジネスホテル福田屋					
	ホテルむさし					
	寿陽長寿館					
	紀伊国屋旅館					
	あいづや別館「桂」					
	ビジネスホテル紅陽					
	会津屋本店(AIZUYAINN)					
	パレスジャパン					
	ホテル丸忠 CLASSICO					
	ホテルニューあづま					
	ホテルヒカリ					
	ビジネスホテル加賀舎					
	ビジネスホテル松葉家					
	ホテルアポロ					
	大東館					
	KANGAROOHOTEL					
	エコノミーホテルほていや					
	ドームホテルえびすや					
	ホテルアクセラ					
ホテル三楽						
アヴァンセ南千住ゲストハウス						
I	ホテルマイステイズ浅草橋	523	97,889	11,402		
	HOTELLIVEMAX東上野					
	ホテルマイステイズ上野稲荷町					
	浅草タウンホテル					
	JA全農浅草ビル「ゲッドくんまの旬の市」					
	ヴィアイン浅草					
	一富士旅館					
	ホテル浅草三河屋					
SOHO浅草						

(4) 外国人観光客数

外国人カウント調査の結果を踏まえ、外国人観光客数の推計を行う。なお、この推計は日本人のカウント調査を含む、各地区全体の歩行者交通量に外国人比率を乗じることにより算出する。

また、外国人に対するアンケート結果から観光目的で来訪した割合を乗じる。

表 2-32 アンケート調査（外国人）による観光目的の割合

	上野公園	アメ横	浅草	谷中	浅草橋
総数	56	6	71	40	14
観光目的	49	5	58	36	10
割合	87.5%	83.3%	81.7%	90.0%	71.4%

①上野地区

a. 上野公園

上野地区の外国人カウント調査における外国人比率は5.6%であった。(表 2-33)

表 2-33 外国人の比率（上野公園）

カウント地点（3箇所）：上野公園（JR口）、上野公園（袴越し）、上野公園（案内所付近）

	全数		
		うち外国人	外国人比率
7/12（土）	32,526	3,466	10.7%
7/15（火）	18,078	2,356	13.0%
9/10（水）	29,650	1,484	5.0%
9/14（日）	76,115	2,220	2.9%
12/16（火）	20,009	1,217	6.1%
12/21（日）	57,467	2,391	4.2%
平均	38,974	2,189	5.6%

上野公園方面の年間歩行者交通量に、上野公園周辺の来訪者を加味するため上野公園の入場者数割合を割り返し、さらに外国人比率と観光目的で来訪した割合を乗じることによって、上野公園の外国人観光客数を推計したところ、64（万人）となった。(表 2-34)

表 2-34 上野公園の外国人観光客数の推計

	年間歩行者交通量
上野公園	9,044,875
上野公園の入場者数割合	69.4%
外国人比率	5.6%
年間外国人総入込数	729,846
観光目的で来訪した割合	87.5%
上野公園の外国人観光客数	638,615
	64 万人

b. アメ横

アメ横の外国人カウント調査における外国人比率は 10.5%であった。(表 2-35)

表 2-35 外国人の比率 (アメ横)

カウント地点 (2箇所) : アメ横上野側、アメ横御徒町側

	全数	外国人比率	
		うち外国人	外国人比率
7/12 (土)	38,731	5,478	14.1%
7/15 (火)	24,509	3,441	14.0%
9/10 (水)	21,068	1,579	7.5%
9/14 (日)	52,401	4,013	7.7%
12/16 (火)	20,833	2,015	9.7%
12/21 (日)	62,580	6,629	10.6%
平均	36,687	3,859	10.5%

アメ横の年間歩行者交通量に、外国人比率と観光目的で来訪した割合を乗じることで、アメ横の外国人観光客数を推計したところ、118 (万人) となった。(表 2-36)

表 2-36 アメ横の外国人観光客数の推計

	年間歩行者交通量
アメ横	13,461,600
外国人比率	10.5%
年間外国人総入込数	1,413,468
観光目的で来訪した割合	83.3%
アメ横の外国人観光客数	1,177,419
	118 万人

以上から、上野公園 64 (万人)、アメ横 118 (万人) を足すと、上野地区の外国人観光客数は、182 (万人) と推計された。

②浅草地区

浅草地区の外国人カウント調査における外国人比率は18.1%であった。(表2-37)

表2-37 外国人の比率(浅草地区)

カウント地点(7箇所): 雷門前、浅草寺二天門、TX浅草駅出口、新仲見世商店街東側入口、言問橋西詰、吾妻橋西詰、浅草寺境内(宝蔵門前)

	全数		
		うち外国人	外国人比率
7/12(土)	72,087	14,078	19.5%
7/15(火)	40,882	8,265	20.2%
9/10(水)	47,391	11,901	25.1%
9/14(日)	112,155	12,307	11.0%
12/16(火)	38,270	9,872	25.8%
12/21(日)	93,451	16,672	17.8%
平均	67,373	12,183	18.1%

浅草寺方面の年間歩行者交通量に、浅草寺周辺の来訪者を加味するため、浅草寺の入場者数割合を割り返し、さらに外国人比率と観光目的での来訪割合を乗じることで、浅草地区の外国人観光客数を推計したところ、326(万人)となった。(表2-38)

表2-38 浅草地区の外国人観光客数の推計

	年間歩行者交通量
浅草地区	14,081,546
浅草寺の入場者数割合	63.9%
外国人比率	18.1%
年間外国人総入込数	3,988,670
観光目的での来訪割合	81.7%
浅草地区の外国人観光客数	3,258,743
	326万人

③谷中地区

谷中地区の外国人カウント調査における外国人比率は4.9%であった。(表 2-39)

表 2-39 外国人比率（谷中地区）

カウント地点（2箇所）：谷中銀座、上野桜木交差点

	全数	外国人比率	
		うち外国人	外国人比率
7/12（土）	5,477	306	5.6%
7/15（火）	3,120	339	10.9%
9/10（水）	2,616	155	5.9%
9/14（日）	8,183	241	2.9%
12/16（火）	2,212	81	3.7%
12/21（日）	6,538	270	4.1%
平均	4,691	232	4.9%

谷中地区の年間歩行者交通量に、外国人比率と観光目的での来訪割合を乗じることで、谷中地区の外国人観光客数を推計したところ、10（万人）となった。(表 2-40)

表 2-40 谷中地区の外国人観光客数の推計

	年間歩行者交通量
谷中地区	2,220,835
外国人比率	4.9%
年間外国人総入込数	108,821
観光目的での来訪割合	90.0%
谷中地区の外国人観光客数	97,939
	10 万人

④浅草橋地区

浅草橋地区の外国人カウント調査における外国人比率は3.3%であった。(表2-41)

表2-41 外国人比率(浅草橋地区)

カウント地点(1箇所):浅草橋駅東口

	全数	外国人比率	
		うち外国人	外国人比率
7/12(土)	6,881	350	5.1%
7/15(火)	9,353	502	5.4%
9/10(水)	10,363	249	2.4%
9/14(日)	6,707	177	2.6%
12/16(火)	9,305	160	1.7%
12/21(日)	5,961	157	2.6%
平均	8,095	266	3.3%

浅草橋地区の年間歩行者交通量に、外国人比率と観光目的での来訪割合を乗じることで、浅草橋地区の外国人観光客数を推計したところ、8(万人)となった。(表2-42)

表2-42 浅草橋地区の外国人観光客数の推計

	年間歩行者交通量
浅草橋地区	3,264,513
外国人比率	3.3%
年間外国人総入込数	107,729
観光目的での来訪割合	71.4%
浅草橋地区の外国人観光客数	76,918
	8万人

以上の結果から、台東区の外国人観光客数は、526(万人)と推計された。(表2-43)

前回との比較するため、上野地区と浅草地区の2地区でみると、計508(万人)であり、前回の426(万人)よりも82(万人)増加した。また、4地区全体では100(万人)増加した。

※今回の調査は、より精度を高めるため、外国人カウント調査を前回の2地区2箇所から今回は4地区15箇所で行った。よって、今回と前回の調査結果については一概に比較できない。

表2-43 台東区の外国人観光客数

上野地区+浅草地区	508万人
台東区の外国人観光客数 (4地区計)	526万人

(参考) 外国人来訪者の居住国 (圏域別構成比)

上野公園案内所付近と浅草寺宝蔵門前において、ヒアリングマップ (世界地図) を用い、外国人に対し居住国 (圏域) の確認を行った。調査結果は、それぞれ表 2-44、表 2-45 のとおりである。

表 2-44 上野公園案内所付近の外国人居住国確認調査の結果

	欧州	中国本土	台湾	香港	韓国	東南アジア	北アメリカ	オセアニア	中東	その他	合計
7月12日	95	63	18	5	2	50	41	19	7	66	366
7月15日	222	27	10	8	22	29	130	35	5	60	548
9月10日	91	34	18	9	10	21	19	13	5	13	233
9月14日	102	57	6	2	3	38	41	33	14	23	319
計	510	181	52	24	37	138	231	100	31	162	1466

構成比 (%)

	欧州	中国本土	台湾	香港	韓国	東南アジア	北アメリカ	オセアニア	中東	その他	合計
7月12日	26.0	17.2	4.9	1.4	0.5	13.7	11.2	5.2	1.9	18.0	100.0
7月15日	40.5	4.9	1.8	1.5	4.0	5.3	23.7	6.4	0.9	10.9	100.0
9月10日	39.1	14.6	7.7	3.9	4.3	9.0	8.2	5.6	2.1	5.6	100.0
9月14日	32.0	17.9	1.9	0.6	0.9	11.9	12.9	10.3	4.4	7.2	100.0
計	34.8	12.3	3.5	1.6	2.5	9.4	15.8	6.8	2.1	11.1	100.0

表 2-45 浅草寺宝蔵門前の外国人居住国確認調査の結果

	欧州	中国本土	台湾	香港	韓国	東南アジア	北アメリカ	オセアニア	中東	その他	合計
7月12日	239	179	99	20	39	105	117	43	11	43	895
7月15日	258	427	203	35	43	77	365	23	7	60	1498
9月10日	125	79	70	8	6	54	59	15	3	16	435
9月14日	147	94	124	75	49	73	112	16	6	55	751
計	769	779	496	138	137	309	653	97	27	174	3579

構成比 (%)

	欧州	中国本土	台湾	香港	韓国	東南アジア	北アメリカ	オセアニア	中東	その他	合計
7月12日	26.7	20.0	11.1	2.2	4.4	11.7	13.1	4.8	1.2	4.8	100.0
7月15日	17.2	28.5	13.6	2.3	2.9	5.1	24.4	1.5	0.5	4.0	100.0
9月10日	28.7	18.2	16.1	1.8	1.4	12.4	13.6	3.4	0.7	3.7	100.0
9月14日	19.6	12.5	16.5	10.0	6.5	9.7	14.9	2.1	0.8	7.3	100.0
計	21.5	21.8	13.9	3.9	3.8	8.6	18.2	2.7	0.8	4.9	100.0

2 台東区の年間観光客数

各地区の年間観光数やイベント来訪者数、宿泊観光数を基に、台東区の観光客数を推計する。

台東区へ来訪する観光客は、例えば上野地区から谷中地区、浅草地区から浅草橋地区へといったように、1回の来訪で各地区を回遊する人も少なくない。そのため、アンケート調査により、各地区で重複する来訪者を除いて台東区全体の観光客数を推計する。

(1) 平常時の観光入込客数の整理

アンケート調査による地区の立ち寄り状況については以下のとおりになっている。(表 2-46)

表 2-46 観光目的による区内他地区への立ち寄り状況（回遊重複率）

	対象者総数	立寄りあり	回遊重複率
上野地区	564	99	17.6%
上野公園			
アメ横			
浅草地区	772	179	23.2%
谷中地区	372	100	26.9%
浅草橋地区	113	41	36.3%

これらの地区ごとの割合を重複率と捉え、各地区の平常時の年間観光入込客数に乗じることで、回遊による重複を除いた年間観光入込客数を推計する。結果は台東区全体で、3,274（万人）となった。(表 2-47)

表 2-47 回遊重複を除いた年間観光入込客数の推計結果（単位：万人）

	観光入込客数 (重複含む)	回遊重複率	観光入込客数 (重複除く)
上野地区	1,253	17.6%	1,032
上野公園			
アメ横			
浅草地区	1,891	23.2%	1,452
谷中地区	184	26.9%	135
浅草橋地区	116	36.3%	74
計	4,367		3,274

(2) イベント来訪者数の整理

地区ごとのイベント来訪者については、平常時の観光入込客数と同様に、回遊による重複を除いた来訪者数を推計する。結果は台東区全体で1,017（万人）となった。（表 2-48）

表 2-48 回遊重複を除いた年間イベント来訪者数の推計結果（単位：万人）

	イベント来訪者数 (重複含む)	回遊重複率	イベント来訪者数 (重複除く)
上野地区	250	17.6%	206
浅草地区	921	23.2%	707
谷中地区	39	26.9%	29
浅草橋地区	34	36.3%	22
その他	53		53
計	1,297		1,017

(3) 宿泊観光客数の整理（日本人のみ）

宿泊観光客の中には、「区内に宿泊し、上野・浅草地区を訪れた観光客」も含まれ、「平常時における観光客数」との二重カウントを除く必要がある。

そのため、上野地区及び浅草地区の宿泊観光客の中で、区内に宿泊を伴う回答者の割合（表 2-49）を除いて整理する。（表 2-50）

表 2-49 区内観光客へのアンケート調査による宿泊地の割合

	上野地区		浅草地区	
	人数	割合	人数	割合
上野や浅草などの台東区内	31	44.3%	66	30.3%
台東区外	39	55.7%	134	61.4%
不明	0	0.0%	18	8.3%
計	70	100.0%	218	100.0%

表 2-50 平常時の観光客数との重複を除いた年間宿泊観光客数

	宿泊観光客数 (重複含む)	区外への宿泊率 (1-区内宿泊率)	宿泊観光客数 (重複除く)	(万人)
上野地区	919,892	55.7%	512,380	51
浅草地区	1,398,956	69.7%	975,072	98

以上より、地区ごとの重複を除いた日本人宿泊観光客数（上野地区：51 万人、浅草地区 98 万人）と外国人宿泊観光客数（実人数）（上野地区：29 万人、浅草地区：35 万人）を足すと、台東区の宿泊観光客数は 213（万人）と推計された。（表 2-51）

表 2-51 外国人を含む年間宿泊観光客数（平常時との重複を除く）（単位：万人）

上野地区	80
浅草地区	133
宿泊観光客数 （平常時との重複を除く）	213

（4）台東区の年間観光客数

以上から、平常時の観光入込客数、イベント来訪者数及び宿泊観光客数から回遊重複を除くと、平成 26 年の台東区の年間観光客数は、4,504 万人と推計された。（表 2-52）

表 2-52 台東区の年間観光客数

平常時の観光入込客数（回遊重複を除く）	3,274 万人
イベント来訪者数（回遊重複を除く）	1,017 万人
宿泊観光客数（平常時との重複を除く）	213 万人
台東区の年間観光客数	4,504 万人

